

# 春の文化財に触れてみませんか

## 日野町 花の文化財散歩

日野町には、たくさん文化財があります。文化財とひとくちにいうても、有形文化財、無形文化財、埋蔵文化財、天然記念物など、数多くの種類があり、それぞれに特質があります。その中でも春にぴったりの、花にまつわる文化財をご紹介します。身近にある文化財に触れ、その素晴らしさを感じてみませんか。

### 日野を艶やかに彩る ホイノボリ

日野の春を彩る祭礼のひとつに、日野のホイノボリがあります。これは、日野町独特のお祭りです。平成12年に県の無形文化財に選択されました。

ホイノボリは、「ホイ」と呼ばれる竹ヒゴに、薄紅色で染められた紙で作った造花が無数に付けられており、しだれ桜のような形状をしています。



ます。▶比都佐神社のホイノボリ



▲南山王祭（日枝神社）

日野町内でホイノボリが見られる祭礼は次の7か所です。

- ◆4月4日 日枝神社（大窪）
- ◆4月10日 日枝神社（小井口）
- ◆4月12日 井林神社（松尾）
- ◆4月14日 比都佐神社（十禅師）
- ◆4月17日 大屋神社（杉）
- ◆4月17日 長寸神社（中之郷）
- ◆5月1日 八千鈿神社（三十坪）

ホイノボリは、稲穂が垂れ下がるような形をしていることや、祭礼が日野川やその支流などの農業用水を共有する地区で行われることから、田植えの前に、稲の神が降り立つように願い、稲穂が良く実るようにとの願いが込められているともいわれています。

### 鎌掛谷 ホンシヤクナゲ群落

4月下旬から5月上旬に、鎌掛の鈴鹿国定公園内にあるホンシヤクナゲ群落が見ごろを迎えます。淡い桃色が美しいホンシヤクナゲは、町の花になっています。

本来、ホンシヤクナゲは高地性の植物です。日野町のほかに、岐阜県大垣市に「一ノ瀬のホンシヤクナゲ群落」がありますが、こちらは標高700m以上の高地に植生しており、鎌掛のように比較的低地で、しかも



▲ホンシヤクナゲ群落（鎌掛）



▲開花時期には、公園の入口にある「森の家」が休憩所となり、日野観光協会による特産品の販売があります

群生していることは非常に珍しいことです。このことから、鎌掛のホンシヤクナゲ群落は昭和6年に国の天然記念物に指定されました。

鎌掛谷のホンシヤクナゲは、樹高が1m位のものから大きなものでは4m以上になるもの、古木では株元の周囲が60cmを超える大きなものまであります。シヤクナゲ群落を展望台から見ると、遠目に咲く華やかな花の淡い桃色と豊かな木々の緑の組み合わせが美しく、見る者を一層楽しませてくれます。

なお、ホンシヤクナゲは年によってたくさん咲く年と、あまり咲かない年があります。また、見ごろの時期もその年によって変わります。花が咲く季節には、日野観光協会ホームページ（<http://www.biwa.ne.jp/~hino-to/hino-to.html>）☎6577で開花情報が公開されますので、訪れる際には開花状況をご確認ください。